

幼保連携型認定こども園

かみ たか まる

上高丸

神戸市垂水区高丸8丁目15-12

078-709-4018



アットホームな“昼間の家庭”で感知融合

養護の方針 アットホームな“昼間の家庭”で

教育の方針 感知融合（総合的人間力を培う）

～「お世話されお世話する体験」で感性(非認知能力)を培い、

「教えられ教える体験」で知性(認知能力)を培う～

教育

人と人との多様な関わり

“日常的に”が大切なキーワード

人の成長・発達の基本は“人と人との関わり”です。そして、その関わりは多様な方がよいのです。毎日の生活や遊びの中で、異年齢・お年寄り・異文化を持つ人などとの日常的な関わりを通じて成長します。

- 年齢別「クラス」ではなく、異年齢の「グループ」単位での生活です。
- 5歳児は、自己肯定感(自信)を培い、能力を定着させるために、午後は小学校へ移行のための教育を同年齢の年齢別「クラス」で行います。
- お年寄りや障害を持たれた方ともできるだけかかわります。

教育

素敵な“個”育て

年齢別評価ではなく、その“個”の発達の順序性に視点を置いて

私たち(大人)は、子どもの発達を大人の“ものさし(年齢別発達基準)”で測っているということ。そして、そのものさしは、平均値と比べて単に速いか遅いかで、その違いをすべて「個人差」という感覚で処理してしまっているのではないのでしょうか。

- 人を年齢のものさしで評価することをやめ、その子にとって今が必要か?という観点で「発達の順序性」にそって、個別にかけがえを設定しています。
- 年齢別の「クラス」ではなく、異年齢の「グループ」単位での生活です。

教育

自然との日常的な関わり

“日常的に”が大切なキーワード

山あり、谷あり、起伏のある園庭は子ども達の好奇心、探究心、冒険心をそそるものです。少しずつ快適で創造的な空間にと考えています。

- 「自分の目で観る」「自分の肌で触る、感じる」「自分の耳で聴く」「自分の舌で味わう」「自分の鼻でにおいを嗅ぐ」という五感を使った自然の中での体験をたくさん取り入れています。

教育

主体性を育む

「何をしたいか」ではなく「これをしたい」に

「選ぶ」ということと「与えられる」ということはまるでその意味は違います。なんとなく漠然と「先生、今日は何をするの?」と待っているようではとても残念です。「選ぶ」は大切なキーワードです。このキーワードをもとに環境を工夫しています。

- ひとつのお部屋も目的別のエリアに分かれています。例えば、絵画工作などの「表現エリア」、絵本・文字合わせなどの「言語エリア」など・・・

- 教育・保育の方法は「プロジェクト活動」を中心に

プロジェクト活動とは、幼児期におけるアクティブラーニングのことで、子どもの興味・関心を引き出し、主体的に様々な体験を展開していく教育です。それにより、「思考力・判断力・表現力」と、その土台となる「主体性・多様性・協働性」が培われます。

教育

創造性を育む

いつでも手に取れる環境

夕食をつくるのに、スーパーマーケットの食料品売り場で考えるのと、ご自宅のキッチンで考えるのとどちらが創造的な料理ができそうでしょうか?「いつでも思いついたときに手に取れる環境」は創造力を培うために大切なキーワードです。これをもとに環境を工夫しています。

- お片づけの後のいつも整然とした何も無いお部屋ではなく、「いつでも思いついたときに手に取れる環境」に、と考えています。
- 人の感性は、子どもだからといって、大人と変わるものではありません。美しいものを見て、美しいと感じる心は同じです。少しでも美的なセンスをプレゼントしたいと考えています。

ケア

～をする部屋に

〇〇組さんの部屋ではなく、目的別の部屋に

一日の生活は、食事や昼寝などのいわゆる生活そのものと、教育的、あるいは文化に類するものを楽しむ営みがあります。クラスごとにひと部屋を使用する方法を探ると、子どもたちの生活がどうしてもあわただしくなります。

- 学校の教室のような“ひとクラスひと部屋”というはありません。目的別(ダイニングルーム、プレイルーム、お昼寝ルームなど)のお部屋で一日を過ごします。

ケア

家庭的な雰囲気をつくる

モデルを“学校”から“家庭”に

日本の保育園(幼稚園)のルーツをたどると明治の初期にドイツからその考えが採り入れられました。しかし、当時の日本には幼児期の保育をあてはめるものがなく、すべて学校をモデルにして考えられました。

- モデルを学校に求めるのではなく、公共施設がもつ雰囲気をできるだけなくし、くつろぎの場を提供するために、少しでも家庭に近いような環境がふさわしいと考えています。



保育について

対象年齢	生後 57 日～小学校就学前	
保育時間	保育標準時間	7:00～18:00
	保育短時間	8:30～16:30
	教育標準時間	8:30～13:30
	延長保育時間	18:00～18:30 18:30～19:00
休園日	日曜・祝日・12月29日から1月3日 (1号認定は、土曜・8月) その他災害の発生などの非常のとき	
食事 (昼食・おやつ)	栄養をバランスよくとる」ことの意識が育つように、又「適温での食事」を目的にカフェテリア方式です。 3歳児～5歳児(有料)も含め主食を提供(米飯給食 完全実施)します。	
ご家庭との連絡	お子様のご様子などは次のような方法で ・登園、降園時を利用して ・連絡システムを通して ・個人面接などで 園からの行事などのお知らせは ・毎月のクラスだよりで ・給食献立予定など	
一日の過ごし方	0歳～2歳	3歳～5歳
	7:00	登園。健康観察
8:30	おむつ交換・検温	遊びにはいる
9:00	排泄・室内遊び	テーマのある
9:30	おやつ	あそび
	戸外でのあそび	
11:30	食事 ミルク	食事
12:30	お昼寝準備など	歯磨きなど
13:00	お昼寝	お昼寝
15:00	おやつ 降園準備	おやつ
16:00	お迎えにより降園	
18:00	延長保育利用児 おやつ	
19:00	保育終了	
年間行事	誕生会・遠足・親子ふれあいの日、七夕クリスマス、ひなまつりなど季節に応じて楽しい行事を催します	

施設の概要

園名	幼保連携型認定こども園 上高丸 (ようほれんけいがたにんていこどもえん かみたかまる)	
住所	神戸市垂水区高丸8丁目15-12	
TEL・FAX	078-709-4018	
創設	2013年4月1日	
園長	奥平 浩太郎	
施設構造	鉄筋コンクリート造 2階建て	
敷地面積	1,203.3㎡	
延べ床面積	627.42㎡	
設備	保育室・プレイルーム・ダイニングルーム・お昼寝ルーム ほか	
児童定員	70名 1号認定 15名	
職員数	23名(園児人数・年齢構成により変更があります。)	

通常保育以外の費用(予定)

毎月必要	6,000円	給食費(1・2号認定)
	1,300円	布団リース代(利用者のみ)
	2,500円～4,500円	延長代(月極利用者のみ)
臨時に必要	200円～	延長保育料(日割利用時) その他、補充がなかった際の オムツ・パンツ代等

その他

【各種保険加入】

日本スポーツ振興センター 東京海上

【子育て支援事業】

子育て相談、一時保育、園庭開放、ベビーマッサージ 他

事業内容●社会福祉法人みかり会 SINCE1952

経営理念 一自身の成長、そして、お返しを—

○社会福祉事業

幼保連携型認定こども園・保育所・小規模保育事業・特別養護老人ホーム

在宅介護・支援センター・老人デイサービスセンター

老人短期入所施設・老人居宅介護等・小規模多機能型居宅介護

放課後児童健全育成・病児保育・地域子育て支援拠点

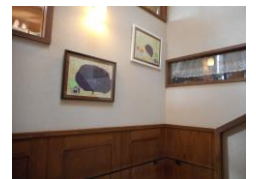
一時預かり・児童厚生施設・障害児通所支援・障害福祉サービス

○公益事業

事業所内保育事業の経営



(山陽バス) 上高丸団地から徒歩 3 分 ・山陽垂水駅から徒歩 22 分



お問い合わせは

078-709-4018

幼保連携型

●社会福祉法人みかり会●

認定こども園 上高丸

神戸市垂水区高丸8丁目15-12

<http://www.mikarikai.jp/kamitakamaru/>